

---

## 色育8カードアドバンスの手順

---

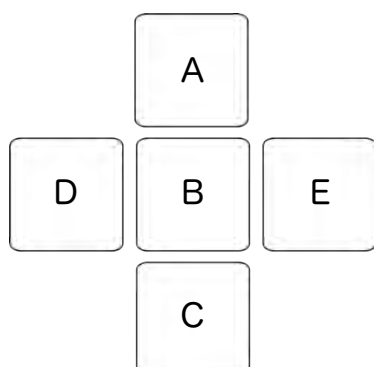
1. 体験者に見えるよう、ぎゅっとくんのミニカード（8色）を並べ気になる色を1枚選び色育8ボードの置きたい枠（ポジション）に置いてもらいます。
2. 体験者に「あなたが選んだ色にはどんなイメージがありますか？」と質問して感じたことを自由に話してもらいます。（抽象的なイメージでもOK）。
3. 体験者が話した内容を、繰り返したり、質問したりして、体験者が自分を客観視できるようリードします。
4. 次に体験者に、次に気になる（2枚目）のぎゅっとくんのミニカード選んでもらい、色育8ボードの残っている枠（ポジション）に置いてもらいます。1枚目のカードと同じ手順で最後の5枚目までセッションを進めます。
5. 体験者が選んだ5色のカードのイメージをすべて話し終わった後、カードを置いた枠（ポジション）が持つ意味と体験者が話した内容をまとめて伝えます。（体験者が話した内容をそのまま伝え、不要な言い換えはしません）
6. 体験者が選ばなかった3枚のカードの中に気になる色があるか確認します。気になる色があればその色のイメージを話してもらいます。
7. 最後に「今のあなたにとって大切だと思うカードの色は何色ですか？」と質問して、そこで選ばれた色を「今のテーマカラー」とします。またその色の取り入れ方（ファッション、小物、インテリアなど）を提案し、テーマを持って生活することが自己成長や前進のきっかけになることを伝えます。

### まとめ

体験者は話すことで、客観視できるようになります。自分らしさに気付くことで人と比べずに行動できるようになり、その結果思考と行動が一致します。これを「\*自己一致」と言います。\*自分に嘘がなく正直な状態のことです。



## 8. ぎゅっとくんのミニカードが選ばれた順番と考え方



### 自己成長ライン優先

---

体験者が選んだ、ぎゅっとくんのミニカードの1～3番目が、A B Cの縦ラインの場合 → 自分軸を持って成長することが大切です。

### バランスライン優先

---

体験者が選んだ、ぎゅっとくんのミニカードの1～3番目が、D B Eの横ラインの場合 → 自分と他者や家庭と社会のバランスが大切です。

その他にも、体験者が A 理想と C 本質で選んだ色の関係性や、D 内面と E 外面で選んだ色の関係性を確認することで、体験者の思いや気付きを共通理解でき、体験者自身も自己理解が深めることができます。

### 選ばなかったカード

---

選ばなかったカードの色にも、体験者に大切な意味を持つ色が隠れています。8 カードリーダーは最後まで丁寧に聴くことに集中します。

### 注意点

---

色育8カードでは「守秘義務」が発生します。体験者との会話の内容や撮影した画像を、ブログや facebook などに掲載する際には、必ず事前に体験者の許可をもらってください。また、個人のプライバシーにも配慮してください。